

タニノギムレット



産駒No.5

静内産。名種牡馬ブライアンズタイムが送った3頭目のダービー馬。リボー系グロースタークの3×4に裏打ちされた力強さや豪快さだけでなく、芝1600^{ドル}のアーリントンCを1分33秒9の好時計で制しているように、非凡なスピード能力も持ち合わせていた。初年度産駒から名牝ウオッカを出現させ、父の最良後継種牡馬としての地位を早々と確たるものにして以降、産駒の活躍は堅調。今年もミッドサマーフェアとオールザットジャズが重賞ウイナーとなった。大沼Sを制したスマートタイタンの今後にも注目したい。

競走成績 8戦5勝(1600m~2400m)

年齢	国	出走	1着	2着	3着
2歳	日	2	1	1	-
3歳	日	6	4	0	2

■3歳時

1着	ダービー-JPN1
1着	スプリングS-JPN2
1着	アーリントンC-JPN3
1着	シンザン記念-JPN3

芝2400m
芝1800m
芝1600m
芝1600m

代表産駒(母の父と主な成績)

ウオッカ(ルシオン:ダービー-JPN1、ジャパンC-G1、天皇賞・秋-G1、安田記念-G1・2回)

ミッドサマーフェア(Kingmambo:フローラS-G2、君子蘭賞)

スマイルジャック(サンデーサイレンス:スプリングS-JPN2、東京新聞杯-G3)

クレスコグランド(サンデーサイレンス:京都新聞杯-G2、ダービー-G1 5着)

ヒラボクロイヤル(Mr.Pro prospector:青葉賞-JPN2、毎日杯-JPN3 2着)

オールザットジャズ(サンデーサイレンス:福島牝馬S-G3、中山牝馬S-G3 2着)

セイクリッドバレー(フジキセキ:新潟大賞典-G3、セントライト記念-JPN2 2着)

アブソリュート(サンデーサイレンス:富士S-G3、東京新聞杯-G3)

ニシノブルームーン(Alzao:中山牝馬S-G3、ヴィクトリアマイル-G1 3着)

ゴールドアグリ(ヘクタープロテクター:新潟2歳S-JPN3、京王杯2歳S-JPN2 4着)